

活動名	団体名	特定非営利活動法人 生物多様性研究所あーすわーむ
三次市茂田地区における住民と小学生の協働によるツキノワグマ出没対策活動	地域	広島県三次市
	代表者	正会員 藤井 猛
	支援金額	25万円
活動概要		
<p>集落の柿を狙ってクマが多数出没する広島県三次市茂田地区において、地元の自治振興区と小学校が中心となり、NPO 法人生物多様性研究所あーすわーむや県などの行政機関、鳥獣保護員などが支援して、クマに関する学習会、クマの出没抑制対策や柿の実の利用促進、地域おこしなどに取り組む活動を支援する。</p> <p>○活動内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ①クマに関する基礎知識学習会 ②出没対策現地学習会 ③児童による茂田地区でのクマ出没対策の支援 <p>◆実施時期 2012年4月～2013年3月(主に8～12月) 三次市君田町茂田地区及び三次市立君田小学校</p> <p>◆参加人数 君田小学校における学習会:小学生7名 茂田地区における学習会:小学生17名、住民等25名 現地学習会(電気柵設置等)2回:住民等のべ45名</p> <p style="text-align: right;">参加総人員:94名</p>		



君田小での学習会
クマとうまく共存することを、専門家から学ぶ



住民と小学生の柿もぎ
「集落の柿を狙ってクマが多数出没するんだ」



「収穫した柿でジャムを作ろう！」
住民と小学生の柿ジャムづくり



電気柵の設置状況を見学

◆実施に伴う効果

茂田地区住民が、クマに対する知識の向上や対策の継続に対する意欲をさらに高めたと、自治振興区長からは聞いています。来年度以降も継続して対策を行いたいとのことで、引き続きの支援を要請されました。君田小学校の学習会の時にはマスコミの取材もあったことから、茂田地区の活動が広く知られたことによりさらなる活性化にもつながったものと感じています。

また、君田小学校の児童については、地元のクマの状況や住民の活動状況等を知る機会を与えることが出来ました。

◆苦勞した点

特に苦勞したということはありませんが、強いて言えば地元と君田小学校との日程や内容の調整にやや時間を要した点です。しかし、県北部農林水産事務所にだいぶ調整していただいたので、助かりました。予算的には、当初予定していた備品等は既存のものを活用する等して、経費節減しました。

◆今後の課題・発展の方向性

茂田地区からは、来年度以降も引き続きクマ対策や学習会等の活動を継続する予定であり、引き続き支援を要請されています。住民や専門家と相談しながら、さらに効果的なクマの被害対策を実施したいと考えています。また対策だけではなく、柿を使った特産品の販売拡大など、地域の活性化にもつなげていけるように、関係団体と連携した活動も行っていく予定です。

併せて、君田小学校の学習会、特に茂田地区における現地学習会については、児童が地域の実情を知る貴重な機会であること、地域と小学校の連携した活動であること、などから、小学校側、茂田地区側双方とも継続的な活動を希望されていますので、引き続き県や市と連携しながらお手伝いしていきたいと考えています。

◆活動を終えての感想・意見等

地域住民と小学校との連携、地域住民の支援、小学生への普及啓発、等といった活動を継続的に実施する機会を与えていただきましてありがとうございました。このような活動は、モデル的なものと位置づけておりますので、ぜひ他の地域にも広がっていただきたいと思います。